

人吉市復興まちづくり計画

令和3年10月版

■ 計画策定の目的

市では、令和2年7月豪雨災害からの復旧復興に向けた大きな指針となる「人吉市復興計画」を3月に策定しました。計画の基本方針では“市民一丸となって取り組む復興”を掲げ、この甚大な災害を乗り越えさらにより良いまちとしていくためには、地域住民、地域事業者、行政等が一体となって復興への歩みを進めていく必要があります。

今回策定した「人吉市復興まちづくり計画」は、被害を受けた地域等の実情や課題が異なることを踏まえ、地域ごとにどういった対策や取組が必要かを住民の方が中心となり検討を重ね、復興に向けて地域が提案する内容を整理し、計画にまとめたものです。災害に強く、未来への希望につながるまちづくりに向けて、ハードとソフトの両側面から地域ごとに必要な対策、取組をまとめています。

■ 計画の検討体制

地区別懇談会等における
必要な対策等の検討
(R3.4月～10月)

- 地域の課題だし
- 治水対策とまちづくり・避難の考え方
- 地域の課題をもとに必要な対策の検討
- 復興まちづくり計画案として整理

提案

人吉市復興まちづくり
計画へ反映

計画全文は市ホームページでご確認いただけます。



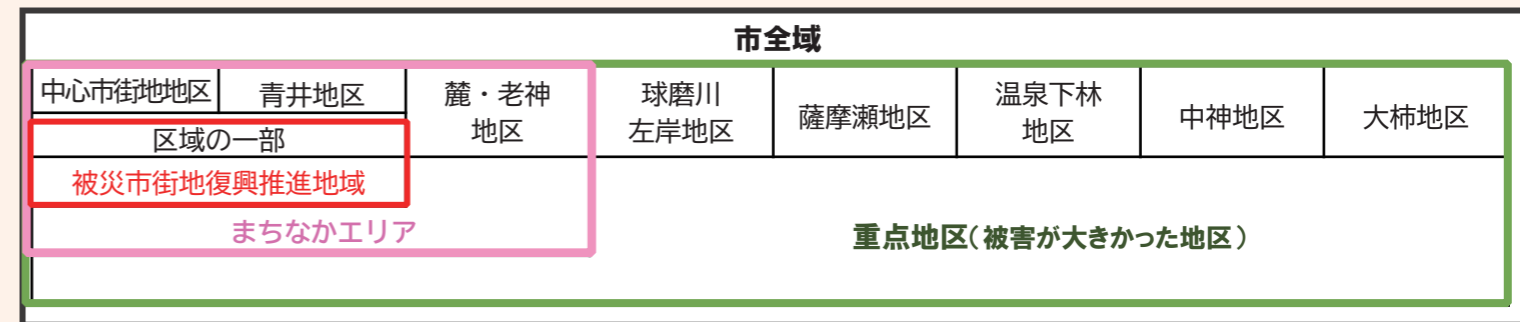
読み取ると市ホームページへリンクします

■ 計画期間

令和3年度～令和9年度

■ 計画の対象地域

市全域を対象としますが、特に被害が甚大であった地域を「重点地区（8地区）」と設定し計画を整理しています。また、市中心部で一体的に取組を進めていくことが求められるまちなかエリアについては「人吉市まちなかランドデザイン」として計画を整理しています。



■ 計画の推進に向けて

復興まちづくりにあたっては、地域住民、事業者、行政等が自ら主体的に取り組むことが重要です。

適切な役割分担のうえで連携・協働し一丸となって計画実現に向け取り組みを進めます。

※計画はR3.10月時点版を初版として取りまとめ、復旧復興の進捗や状況変化を踏まえ柔軟に見直しを行います。

(問い合わせ) 人吉市役所復興支援課
☎ 0966-22-2111(代)
Mail: fukkousien@hitoyoshi.kumamoto.jp

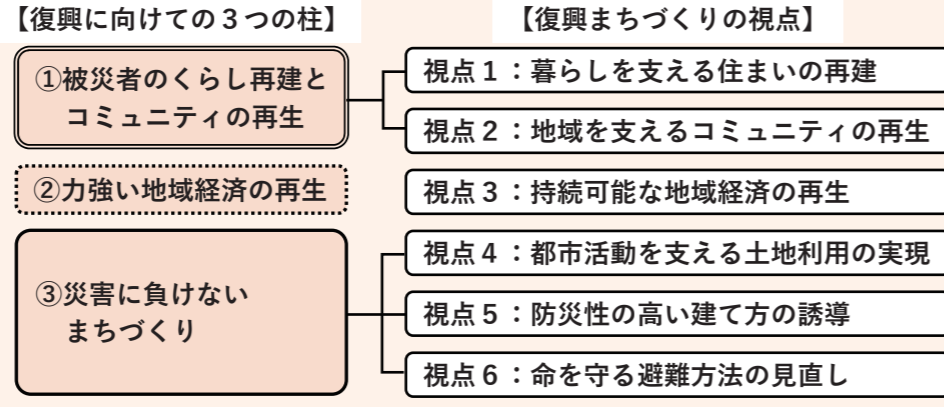
まちづくりの担い手・プレイヤー ～誰が主体となって取り組むか？～



■復興まちづくり計画の基本方針

復興にあたっては、流域治水プロジェクトに基づく治水対策の推進を前提としながらも、くらしやコミュニティ、地域経済の再生を図りながら災害に負けないまちづくりを進めていく必要があります。

この計画では右図に示す視点に沿って各地域の取組方針を整理しています。



中心市街地地区の復興まちづくり計画

対象地域 九日町、七日町、五日町、二日町、鍛冶屋町、大工町、紺屋町、上新町、下新町、鶴田町、北泉田町、南泉田町

復興まちづくりの目標

清流球磨川と人吉らしい歴史・文化とともに、若い力と賑わいに満ち、お年寄りから子どもまで安心して暮らせるまちなか

地区の主な課題	取組方針	具体的取組
住まいの再建と安全性の向上	安全な住まいの確保	安全性を高める建て方の誘導 災害公営住宅等の導入検討
地域コミュニティの再生	コミュニティの拠点の再生	町内会の集会所等の再建、公民館等の整備 町内会の連絡網の再整理
なりわいの再建と中心市街地の再生	中心市街地の再生に向けた環境づくり	個々の事業所の再建支援 継続的な賑わい創出の取組
避難のタイミングの判断の検討	「安全な避難」のための「平常時の準備」	地域特性を踏まえたマイ・タイムライン、地区防災計画の作成
安全な避難ルートの確保	安全な避難路の整備	地区内の主要道路・避難路の整備
町単位の避難体制の構築	地域性を踏まえた避難体制の構築	防災情報の伝達機能の強化 自助共助の避難体制の構築 来街者・観光客の避難誘導対策 実践的な避難訓練の実施
緊急時に避難ができる場所の確保	複数の避難場所の確保	垂直避難ができる避難場所の確保 車での避難場所（駐車スペース）の確保
避難所機能の充実	避難所の機能や利用環境の整備、運営体制の強化	避難所の機能や利用環境の整備 避難所運営体制の強化
治水対策の推進	流域治水プロジェクトによる本川・支川の水位の低下	流域治水プロジェクトによる本川・支川の水位の低下
地域性を活かした復興まちづくり	地域が一体となった復興まちづくり方針の共有	「人吉市まちなかランドデザイン」に基づく地区間連携の強化
まちへの人口回復	まちなか居住の推進 複合的な交流の場づくり	災害公営住宅等の導入検討（再掲） 複合的な交流施設の整備
温泉文化を活かしたまちづくり	温泉の復活と温泉文化の継承	温泉の活用方策の検討
景観まちづくりへの積極的な取組	人が集い、過ごす風景の再生	歴史的な建物や路地空間等を活かしたまちなみ形成
球磨川のまちづくりへの活用	球磨川を活かしたまちづくりの推進	球磨川を活かしたまちづくり
面的なまちづくりの必要性	面的なまちづくり方策の検討	面的なまちづくり手法の活用検討
空き地等の増大によるまちなか空洞化への対応	空き地の活用方策の検討	空き地の活用促進とマネジメント方策の検討

人吉市まちなかランドデザイン～中心市街地地区、青井地区、麓・老神地区の3地区が連携したまちなかの将来ビジョン～

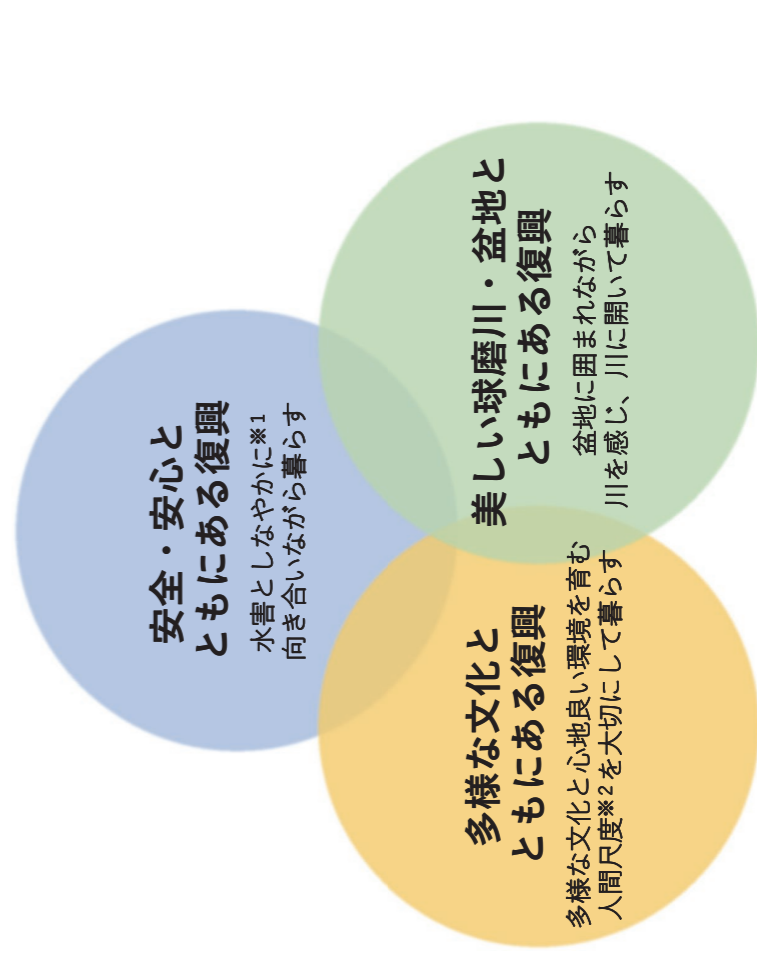
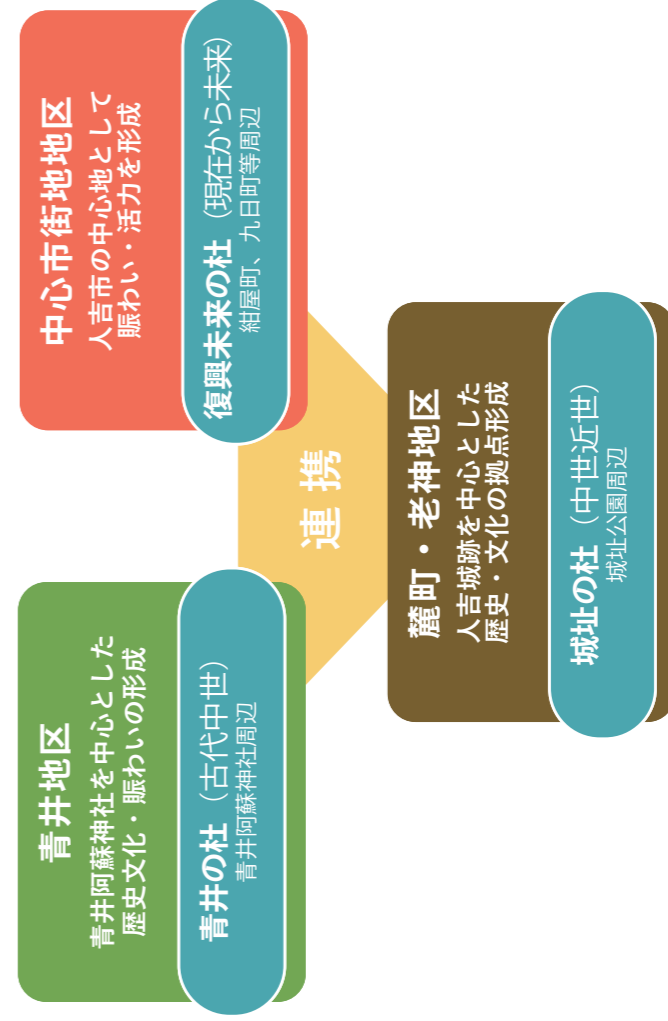
人吉市まちなかランドデザイン

対象地域 中心市街地地区、青井地区、麓・老神地区

相良700年の歴史とともに育んできた「多様な文化」や、「美しい球磨川・盆地」の豊かな自然を活かし、来訪者を含めた賑わい形成や、水害を乗り越え「安全・安心」な暮らし方につなげる、「持続可能な地域づくり」に取り組んでいきます。

3つの柱が調和・連携し復興まちづくりを推進

3地区の連携と未来型復興を先導する「3つの杜」



各地区の特性を最大限に活かし、

- 人吉らしさや賑わいを発信する集客拠点「3つの杜」の形成と回遊促進を図る
- それぞれの拠点が連携してまちなか全体の活性化につながるよう、復興まちづくりを推進

※1 将来起こるかもしれない水害等の自然災害に対し、事前に対応するということの意味を含めて「しなやかに」という言葉を用いています。

※2 城下町の歴史がある人吉市のまちなかにおいては、歩きやすい道幅や圧迫感のない建物の高さ等に人々の居心地の良さに配慮し、「人間が心地良さを感ずる尺度」を大切にします。

中心市街地地区 復興まちづくり計画【将来イメージ】

復興未来の杜エリア

- 青井の杜（古代中世/青井阿蘇神社周辺）
 - 城址の杜（中世近世/城址公園周辺）
 - 復興未来の杜（現在から未来/紺屋町、九日町等周辺）
- 3つの杜がグリーンインフラとなり回遊を促し環境共生型都市として未来型復興を図る

交流・文化・まちなか居住拠点の形成



地場産材を使用した災害公営住宅のイメージ



敷地内を通り抜けることができる分棟型文化交流施設のイメージ



中心市街地の新たな拠点となる緑豊かな図書館等のイメージ



まちなかのポケットパークのイメージ

賑わい・観光・交流拠点の形成



川沿いの回遊を促す足湯のイメージ

まちの玄関口としての景観形成



道路、建物が一体となった沿道景観形成のイメージ

歴史的な町並みの形成



十軒町通りの歴史的建物を活かした町並み形成



鍛冶屋町の町並み形成

ひかりの復興計画による夜間景観イメージ

なりわい・生活支援拠点の形成



コンテナマルシェ



コーヒー屋台



青空図書館

趣味、部活動をまちなかで

小さい子が安心して遊べる環境

石蔵の活用イメージ

子育て世代支援+生活広場

空き地対策

- ・空き地の緑地化、芝生化
- ・出身著名人に依頼しオーナー制の管理を提案

防災拠点としての充実

- ・バリアフリー化の推進
- ・歩行での早めの避難所としての整備（人吉高校との役割を明確化）

雨水浸透緑地帯の導入



雨水が時間をかけ排水され豪雨時の被害軽減のイメージ

テラス席のような形での建て方の検討



復興型商店街の再生のイメージ



「ひかりの復興計画」夜間景観のイメージ



歴史的建物のあり方の検討



1階にUターン、被災商店主向け店舗、2・3階に住居やシェアハウスのイメージ

癒やし・寛ぎ・宿泊拠点の形成



球磨川沿いの老舗ホテル・旅館を中心とした滞在型の癒やし・寛ぎ拠点を形成



温泉巡り、魅力的な商店などの湯上がり散策

球磨川プロムナード軸の形成



テラス型のオープンカフェ等を検討



石垣等自然素材の検討

桜の植樹を検討



1000本の桜を植樹し自然と調和・共生した観光都市のイメージ



個人商店（肉屋、魚屋、駄菓子屋、喫茶店など）が出店したくなる環境づくり

青井阿蘇神社からHASSENBAまでの散策路の形成

球磨川プロムナード軸の形成
・川沿いに休憩できる、遊べる場所の確保
・川（水）に親しむ場所の確保
・車の乗り入れを制限する。（隣接家庭には通行許可を）

リバーアクティビティの拠点化
川下り、ラフティング、カヌー等

城見庭園の利活用
眺望を楽しみ回遊を促す足湯を配置

観光複合施設『HASSENBA』をリバーアクティビティの拠点に

住宅地としてのあり方検討

- ・若い世代が住めるよう、住宅の近くに子どもを預けられる場、夜でも安心して働くことができる環境の整備。
- ・まちなかや市内外からUターンで移住促進を図るための住宅の確保（店舗併用）。
- ・高齢者が楽しめるまちづくりの推進。
- ・災害公営住宅等の導入の検討
- ・地区として小規模な区画整理等の検討

人吉市まちなかランドデザイン～中心市街地地区、青井地区、麓・老神地区の3地区が連携したまちなかの将来ビジョン～

■ 人吉の歴史を語り継ぎ明るい未来を創る3つの杜

● 青井の杜（古代中世）、城址の杜（中世近世）、復興未来の杜（現在から未来）

■ 賑わい・交流・回遊を促進する軸

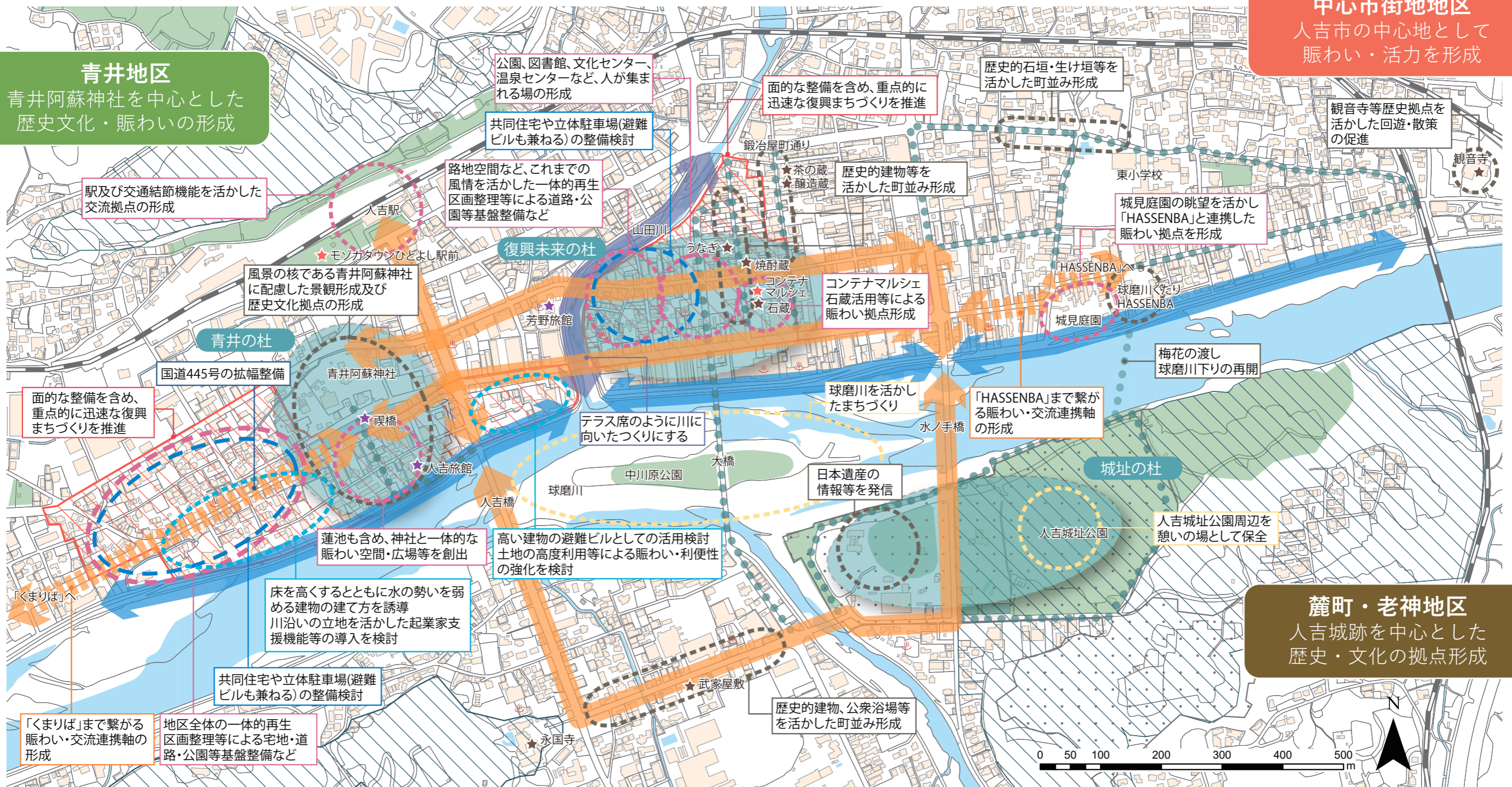
- 賑わい・交流軸 3つの杜を連携する、賑わい・交流を促進する軸の形成
- 賑わい・交流連携軸 周辺の拠点と連携する、賑わい・交流軸の形成
- 球磨川プロムナード軸 球磨川の魅力を活かした親水空間の形成
- 山田川親水軸 山田川の魅力を活かした親水空間の形成
- 回遊散策路 人吉の魅力を楽しめる散策コースの形成

※賑わい・交流軸、賑わい・交流連携軸、球磨川プロムナード軸、山田川親水軸は機能として回遊散策路を兼ねます。

■ 取組の推進ゾーン

- 人が集い賑わう交流拠点の形成
- 歴史・文化資源を活かした拠点の形成
- 自然環境等を活かし、潤いを感じ憩える拠点の形成
- 避難場所も兼ねたまちなか居住の拠点の形成
- 川沿いの環境を活かした創造・交流を促進する拠点の形成
- 被災市街地復興推進地域

- 風致地区
- 公園・緑地
- 史跡人吉城跡
- 登録文化財
- 歴史的建物等
- 仮設店舗等
- 温泉・公衆浴場



青井地区
青井阿蘇神社を中心とした
歴史文化・賑わいの形成

中心市街地地区
人吉市の中心地として
賑わい・活力を形成

麓町・老神地区
人吉城跡を中心とした
歴史・文化の拠点形成